

# 取扱説明書

## ワイヤレスイヤホン

Ver. 1.0

型番: GRND-BTE P003



### もくじ

### ページ

安全上の注意	2
各部の名称	5
パッケージ内容	5
充電のしかた	6
使いかた	7
使いかた(パソコンで使う)	12
使いかた(オンライン会議で使う)	14
Bluetoothについて	15
お手入れ	16
本製品の防水性能について	16
故障かなと思ったら	17
リチウム電池のリサイクルについて	18
商品仕様	19
保証書・保証規定	21

- この度はワイヤレスイヤホンをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
- この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。特に「安全上の注意」、「充電のしかた」は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。お読みになった後はいつでも見ることのできる場所に保管してください。
- 保証書はこの説明書の21ページに載っています。レシートとともに保管してください。

この製品は日本国外でのアフターサービスは出来ません。

No service is available outside of Japan.

## 安全上の注意 必ず守ること

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して、誤った使いかたをした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



### 警告

この表示の欄は、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



### 注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみ発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です。)



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。



## 警告

■絶対に分解したり、改造しない



火災・感電の原因になります。

■火の中に投入したり、加熱しない



破裂による火災・けがの原因になります。

■水につけたり、水をかけない



感電・故障の原因になります。

■本製品内蔵の電池が液漏れした場合は直ちに使用を中止する



発火・炸裂の原因になります。

■本製品内蔵の電池の液が目に入ったときは、こすらずにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師に相談する



失明などの原因になります。

■本製品やケーブルの充電用端子に液体やホコリなどが付着しないように清掃する



発熱・発火・やけどの原因になります。

■運転中は使用しない



自動車、オートバイ、自転車などの運転中はイヤホンを使用したり、細かい操作をしたりすることは絶対にお止めください。交通事故の原因になります。

■周囲の音が聞こえないと危険な場所では使用しない



踏切や駅のホーム、車の通る道、工事現場などでは周囲の音が聞こえないと危険です。事故やけがの原因になります。

■異常・故障時は直ちに使用を中止する



液漏・発火・炸裂の原因になります。

■雷が鳴り出したら、本体やUSBケーブルに触れない



感電の原因になります。

■充電中の異常(充電しない、以前より熱くなる、本体が変形したなど)発生時は直ちに使用を中止する




直ちに使用を中止し、ゲオお客様サポートセンターにご連絡ください。


## 安全上の注意 必ず守ること

### 注意


- 本製品に強い衝撃や圧力を加えない

 液漏・発火・炸裂の原因になります。


- 油煙、湯気、湿度、ホコリの多い場所で使用しない

 火災・感電・故障の原因になります。


- 医療機器の近くで使用しない

 電波が医療用電気機器に影響を与えるおそれがあります。


- 心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以上離す

 電波の影響で誤動作の原因となるおそれがあります。


- 航空機内で使用する場合は、客室乗務員の指示に従う

 電波の影響で誤動作の原因となるおそれがあります。


- 大音量で長時間連続使用しない

 聴力障害などの原因になることがあります。


- 使用開始時はボリュームを下げから装着する

 突然大きな音が出て、耳をいためる原因になります。


- 製品仕様の充電時間を過ぎても充電が完了しない場合は、充電を中止する

 液漏・発火・炸裂の原因になります。


- 直射日光が強いところ、炎天下の車内での使用や保管をしない

 破損・発熱の原因になります。


- 本製品を温度の高くなるストーブ・コンロなどの近くに置かない

 液漏・本体の変形の原因、寿命が短くなることがあります。


- 小さなお子様の手の届かないところに保管する

 誤飲など思わぬ事故をまねくことがあります。


- USBケーブルを抜くときはケーブルを持たずに必ずプラグを持って引き抜く

 ケーブルを持って抜くと断線や故障の原因になります。

- 充電中は、本製品および充電ケーブルの周りに物を置かない

 感電・ショートの原因になります。

- イヤホンにキャッシュカードなどの磁気カードを近づけない

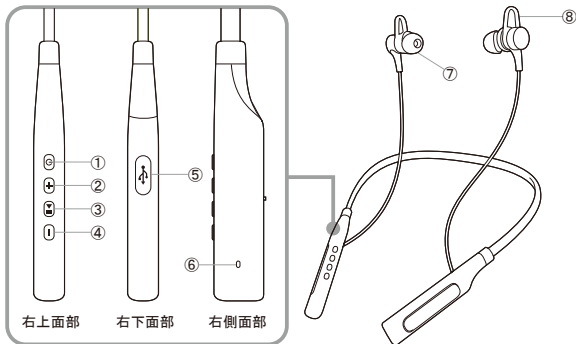
 本製品に内蔵された磁石の影響により、カード情報が損なわれる可能性があります。

## 安全上の注意 必ず守ること

### 使用上の注意

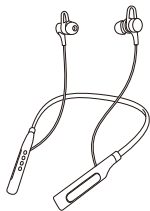
- 本製品の使用に関して、お使いの機器のメモリー内容が消去されても保証は一切いたしません。あらかじめご了承ください。
- 補聴器、ペースメーカー、その他の医療用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器に影響を与えるおそれがあります。誤動作による故障や事故の原因になりますので、本製品をそれらの近くでは使用しないでください。
- 交通機関や公共の場所では音量に注意し、周りの方の迷惑にならないようにしてください。
- 本製品の使用中に気分が悪くなった場合は、すぐに使用を中止してください。
- 本書に記載されている使用方法以外でのご使用にて損害が発生した場合は、弊社は一切の責任を負いません。
- 本製品を使用せず、長期間保管した場合、バッテリー性能は低下します。何回か充放電を繰り返すと回復する場合があります。
- 本製品は国内専用です。海外では国によって電波使用制限があるため、本製品を使用した場合、罰せられることがあります。

## 各部の名称



- ①電源ボタン ②曲送り／音量＋ボタン ③再生／一時停止ボタン  
④曲戻し／音量－ボタン ⑤充電用Type-C端子 ⑥LEDランプ／マイク  
⑦イヤークャップ ⑧イヤーフック

## パッケージ内容



- ④取扱説明書兼保証書(本書)×1

# 充電のしかた

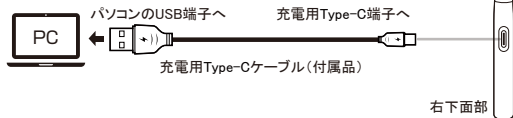
初めてお使いになる前に本製品を満充電してからご使用ください。

電池容量が低下すると、LEDランプが赤色に点滅してイヤホンから音声アナウンス（ロウパツテリー、プリーズチャージ）が約10分おきに流れますので、充電してください。

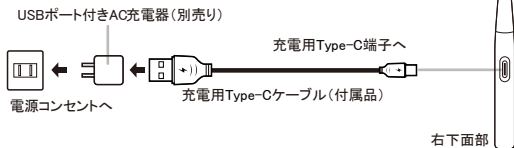
- ①付属の充電用Type-Cケーブルで、パソコンのUSB端子または別売りのUSBポート付きAC充電器と本体の充電用Type-C端子を接続して充電します。
- ②充電中は電源をオフにしてください。
- ③充電中はLEDランプが赤色に点灯し、約2時間で満充電になります。  
満充電後、LEDランプは青色の点灯に変わります。

## パソコンと接続して充電する場合

※USB規格に適合したパソコンについているUSBポートと付属のType-Cケーブルを使用して充電してください。



## 電源コンセントと接続して充電する場合



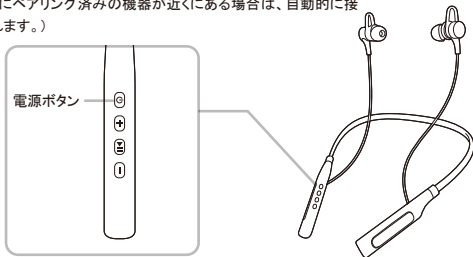
※ケーブルおよびイヤホンの充電用Type-C端子が汚れていると、充電できない場合があります。充電用Type-C端子が汚れている場合、柔らかい布や綿棒、ブラシなどで取り除いてください。

※汚れがひどい場合は、アルコール系のウェットティッシュで汚れを取り除き、乾いた布でふき取ってください。

# 使いかた

## 電源を入れる

- ①本体の電源ボタンを約3秒長押しします。
- ②音声アナウンス(パワーオン、ペアリング)が流れ、LEDランプが青色に点滅した後、赤色と青色交互に点滅して電源が入ります。(すでにペアリング済みの機器が近くにある場合は、自動的に接続されます。)



## 電源を切る

- ①本体の電源ボタンを約3秒長押しします。
- ②音声アナウンス(パワーオフ)が流れ、LEDランプが一度赤色に点滅した後、消灯して電源が切れます。

## 自動電源オフ機能

ペアリングしていない状態で約5分ほど経過すると自動的に電源が切れます。  
※デバイスやアプリケーションの動作状況によっては機能しない場合があります。

## ペアリング

本製品とBluetooth機器を接続する行為をペアリングといいます。

- ①本体の電源をオンにします。
  - ②音声アナウンス(パワーオン、ペアリング)が流れ、LEDランプが青色に点滅した後、赤色と青色交互に点滅します
- ※本操作前に本体の電源が入っていた場合、一旦電源を切ってから、本操作を行ってください。

- ③Bluetooth機器(接続する機器)にてペアリングのための操作を行います。Bluetooth機器側で本機を検出した場合、“BTE P003”の名称で表示されます。

# 使いかた

## ペアリング

〈iPhoneとの接続例〉

※機種やOSのバージョンによって設定方法は異なります。



- ① iPhoneの画面にある「設定」を選択します。 ② 「設定」内の「Bluetooth」をタッチします。



- ③ 「Bluetooth」の「オフ」の部分タッチまたはスライドさせて「オン」にします。 ④ 検出されたBluetooth機器がリストに表示されますので、その中から「BTE P003」を選択します。
- ⑤ ペアリングが完了すると音声アナウンス(コネクテッド)が流れ、LEDランプが青色の点滅に変わります。  
2回目以降のご使用では、電源を入れると最後に接続したBluetoothデバイスと自動的にペアリングされます。電源を切るとBluetooth接続は解除されます。



- ⑥ Bluetooth接続を解除したり、登録を削除したい場合は、デバイス名の右をタップして次の画面でいずれかを選択します。Bluetooth接続を解除すると音声アナウンス(ディスコネクト)が流れ、LEDランプが赤色と青色交互に点滅します。



# 使いかた

## ペアリング(続き)

<Androidスマートフォンとの接続例>

※機種やOSのバージョンによって設定方法は異なります。

- ①スマートフォンの画面にある「設定」を選択します。
- ②「設定」内の「機器接続」を選択します。
- ③「機器接続」内の「新しい機器とペア設定する」を選択します。
- ④検出されたBluetooth機器がリストに表示されますので、その中から“BTE P003”を選択します。
- ⑤ペアリングが完了すると音声アナウンス(コネクテッド)が流れ、LEDランプが青色の点滅に変わります。2回目以降のご使用では、電源を入れると最後に接続したBluetoothデバイスと自動的にペアリングされます。電源を切るとBluetooth接続は解除されます。

※Android端末でデバイス一覧に“BTE P003”がない場合は、スキャンをタップしてください。

※接続がうまくいかなかった場合は、スマートフォンのBluetooth接続を解除して、最初からやり直してください。Bluetooth接続を解除すると音声アナウンス(ディスコネクト)が流れ、LEDランプが赤色と青色交互に点滅します。

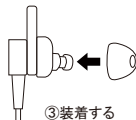
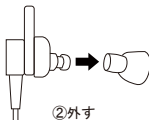
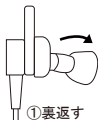
## イヤホンの装着



- 耳のくぼみにあわせてイヤーフックを軽く回して図のように装着します。
- 左右を間違えないように装着してください。
- イヤークャップのサイズが合わない場合は、付属の他のサイズに交換してください。

## イヤークャップの交換

- 本製品には3種類(S/M/L)のイヤークャップが付属しています。耳に合ったサイズを選んでご使用ください。最初に本体にはMサイズが装着されています。
- イヤークャップが確実に固定されていないと、使用中に外れて耳の中に残る場合があります。確実に固定されていることを確認してください。

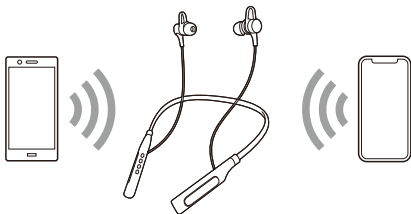


# 使いかた

## マルチポイントの設定

本製品は2台のBluetooth機器(スマートフォン、タブレットなど)の待ち受けを行うことができます。

- ・2台同時に着信を待つことができます。
- ・1台で音楽を再生してもう1台で着信を待つことができます。



### ＜設定方法＞

- ①1台目のBluetooth機器とペアリングして機器の登録を行います。  
ペアリングが完了したら、Bluetooth機器のBluetoothをオフにします。
- ②2台目のBluetooth機器をペアリングします。
- ③2台目のBluetooth機器のペアリング完了後、1台目のBluetoothをオンにして本製品“BTE P003”を再度選択します。

以上で設定完了です。1台目のBluetooth機器と2台目のBluetooth機器が共に接続され、待ち受け状態となります。同時に登録・使用出来るBluetooth機器は2台までです。

※Bluetooth機器の使用方法については、当社ではサポートしておりません。

本製品に接続するBluetooth機器の取り扱いについてはBluetooth機器の取扱説明書をご参照ください。

## 音声アシスタント

再生／一時停止ボタンを約2秒長押しすると、音声アシスタント(Siriなど)が立ち上がりますので、音声指示してください。音声指示せずにしばらく経過すると元のモードに戻ります。

# 使いかた

## ハンズフリー通話の操作方法

本製品と通話をするスマートフォンをBluetoothで接続します。

### 電話発信

スマートフォン側で電話をかけます。

### 電話着信

イヤホンから着信音が聞こえたら、電源ボタンを短押しして通話ができます。  
通話終了後は再度電源ボタンを短押しして切ります。

### 再度電話をする

電源ボタンを2回続けて押すと、スマートフォンで直前に発着信した電話番号にもう一度電話します。

### 着信拒否

電源ボタンを約2秒長押しします。  
※通話中、音楽再生は中断します。通話が終わると音楽再生が再開されます。

## 音楽再生の操作方法

本体右上面のボタンを押して操作できます。(P.5「各部の名称」を参照)

### 再生/一時停止

音楽再生中に再生/一時停止ボタンを1回押すと一時停止します。  
一時停止中に再生/一時停止ボタンを1回押すと、一時停止が解除され、再生を開始します。

### 曲送り/曲戻し

音楽再生中または一時停止中に曲送り/音量+ボタンを約2秒長押しすると曲送ります。  
音楽再生中または一時停止中に曲戻し/音量-ボタンを約2秒長押しすると曲戻します。  
※使用するデバイスのOSやアプリによっては、曲戻しすると1つ前の曲ではなく、曲の頭に  
戻る場合があります。

### 音量調整

曲送り/音量+ボタンを1回押すと音量が大きくなります。  
曲戻し/音量-ボタンを1回押すと音量が小さくなります。

## その他の機能

音楽再生中にBluetooth通信可能範囲外に出ると、接続が切断されます。  
5分以内に範囲内に戻ると、自動的にBluetooth接続を復旧します。  
イヤホンの再生/一時停止ボタンを1回押すと音楽再生が再開されます。

# 使いかた(パソコンで使う)

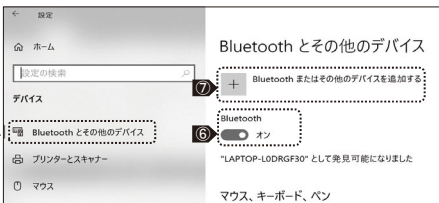
## パソコンで使う

### Windows 10の場合

- ① 本体の電源をオンにします。
- ② パソコン画面の左下のWindowsマークをクリックして、スタートメニューを立ち上げます。
- ③ 「設定」をクリックします。
- ④ 「デバイス」をクリックします。



- ⑤ 「Bluetoothとその他のデバイス」をクリックします。
- ⑥ Bluetoothがオンになっていることを確認してください。
- ⑦ 「Bluetoothまたはその他のデバイスを追加する」をクリックします。

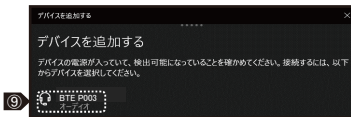


- ⑧ 「デバイスを追加する」の画面が表示されるので、「Bluetooth」をクリックします。



# 使いかた(パソコンで使う)

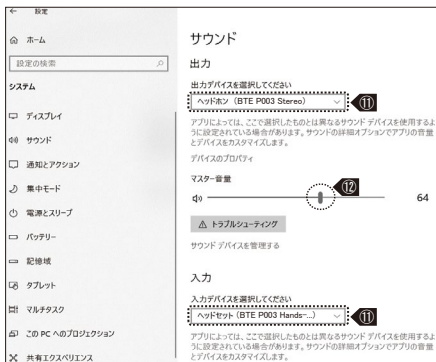
- ⑨“BTE P003”をクリックします。



- ⑩接続が完了すると、パソコンに右の画面が表示されますので、「完了」をクリックしてください。  
※5分以内に接続を完了してください。  
※5分以上経過してしまった場合や接続がうまくいかなかった場合は、最初からやり直してください。  
※“BTE P003”の下に「音声、音楽に接続済み」と表示されていることを確認してください。「音楽に接続済み」の場合はマイクが認識されていないので、接続をやり直してください。



- ⑪音が出ない場合は、パソコンのマイクおよびスピーカーの設定を調整します。  
パソコンの左下のスタートボタンから「設定」→「システム」→「サウンド」をクリックします。  
出力と入力で“BTE P003”を選択します。
- ⑫必要に応じてマスター音量をスライドさせて調整します。



# 使いかた(オンライン会議で使う)

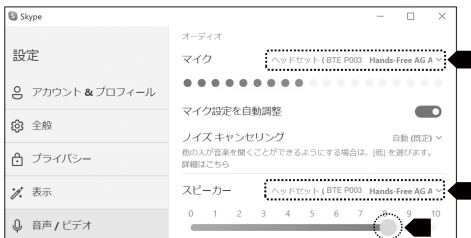
## オンライン会議で使う

ビデオ通話やオンライン会議で使用する場合は、アプリ内のマイクやスピーカーの設定が必要になります。

※使用するアプリによって設定方法が異なりますので、各アプリの使い方をよく確認してください。

### Skypeの場合

「設定」→「音声/ビデオ」と選択して、マイクとスピーカーを“BTE P003”に設定してください。必要に応じてスピーカーの音量をスライドさせて調整してください。



### Google Meetの場合

「設定」→「音声」と選択して、マイクとスピーカーを“BTE P003”に設定してください。



# 使いかた(オンライン会議で使う)

## Zoomの場合

「設定」→「オーディオ」と選択して、マイクとスピーカーを“BTE P003”に設定してください。  
必要に応じてスピーカーの音量をスライドさせて調整してください。



## Bluetoothについて

- Bluetooth通信の通信範囲は約10mですが、障害物(人体、金属、壁など)や電波状態によって接続有効範囲は変動します。
- Bluetooth機器と無線LAN(IEEE802.11b/g)は同一周波数帯(2.4GHz)を使用するため、無線LANを搭載した機器の近辺で使用すると電波干渉が発生し、接続速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合は、無線LAN機器の電源を切るか、10m以上離れた場所でご使用ください。
- Bluetooth対応製品の音楽・音声機器とマウス・キーボードなどを同時に接続した場合、音楽や音声が途切れることがあります。
- 本製品はBluetooth対応のすべての機器との接続動作を保証するものではありません。
- 本製品は電波法に基づく技術基準に適合していますので、無線局の免許は不要です。ただし、本製品を分解・改造すると法律で罰せられることがあります。
- 無線技術の特性により送信側での音声・音楽再生に比べて本製品での再生が遅れるため動画視聴時やゲームでのご使用の場合、映像と音声がずれる場合があります。
- 接続する機器によって、Bluetooth接続ができるまで時間がかかることがあります。

## お手入れ

汗や水が付着したままにしておくと、充電ができなくなる原因となりますので、ご使用後は速やかにふき取ってください。

- お手入れには、乾いた布か、水に浸した柔らかい布をよく絞りお使いください。
- シンナー、ベンジンなどの溶剤・洗剤を使用しないでください。
- 本製品を水や石けんで洗わないでください。
- イヤホンの充電用Type-C端子(P.5「各部の名称」を参照)が汚れていると、充電できない場合があります。充電用Type-C端子が汚れている場合、柔らかい布や綿棒、ブラシなどで取り除いてください。
- 充電用Type-C端子の汚れがひどい場合は、アルコール系のウェットティッシュで汚れを取り除き、乾いた布でふき取ってください。

## 本製品の防水性能について

### イヤホン本体

本製品は、防水規格IPX5相当の仕様となっています。いかなる方向からの水の直接噴流によっても有害な影響を受けません。防水性能は永続的なものではなく、通常の使用によって防水性能が低下する場合があります。

- 完全防水ではありませんので、水中では使用しないでください。
- 故意に流水を浴びせたり、水没させないでください。
- 本製品を水や石けんで洗わないでください。
- お風呂やシャワーでの使用は推奨していません。
- 本製品についた汗、雨水、海水などをよくふき取ってください。
- お客様の誤った取り扱いにより水の侵入で故障した場合は保証対象外となります。

### 充電用ケーブル

本製品に付属する充電ケーブルは防水仕様ではありません。

- 水がかかる恐れがある場所で使用しないでください。



## 故障かなと思ったら

### 本製品の電源が入らない

- 本製品を充電してからお試しください。
- 本製品はオートパワーオフ機能を採用しております。ペアリングしていない状態で約5分ほど経つと自動的に電源がオフになります。

### 充電できない

- イヤホンの充電用Type-C端子(P.5「各部の名称」を参照)をご確認ください。
- 充電用Type-C端子が汚れている場合、柔らかい布や綿棒、ブラシなどで取り除いてください。汚れがひどい場合はアルコール系のウェットティッシュで汚れを取り除き、乾いた布でふき取ってください。

### Bluetooth機器とペアリング(登録)できない

- 本製品と接続している機器の電源を両方とも切り、機器情報(デバイス登録)を削除してから再度Bluetooth接続やペアリングを行なってください。
- 接続するBluetooth機器側の機能が使用可能な状態であることを確認してください。
- 接続するBluetooth機器側が本製品のプロファイルに対応しているか確認してください。
- 接続するBluetooth機器と本製品をなるべく近づけて登録してください。
- ペアリングモードが時間切れのため終わっている場合があります。再度設定しなおしてください。
- 近くに別のBluetooth機器がある時は、別のBluetooth機器の電源を切るか、その機器から離れた場所で登録してください。
- Bluetooth機器の電源を切り、再度電源を入れ直してお試しください。

### 発信時に本製品が使えない

- 携帯電話から発信した後に、スピーカー/マイクを本体から本製品へ切替え操作が必要です。操作方法は、携帯電話の説明書をお読みください。

### 着信時に電源ボタンを押しても通話できない。

- 一部の携帯電話では、着信時に本製品の電源ボタンを数回押さないと通話を開始できない場合があります。
- Bluetooth機器側で着信を行ってください。

### 通話できない

- 接続するBluetooth機器と本製品の電源を入れてください。
- 再度ペアリング(登録)をしてください。
- Bluetooth機器と本製品の音量を大きくして調節してください。

## 故障かなと思ったら

### 通話相手に自分の声が聞こえない

- 接続する機器がBluetooth機能を搭載し、HFP・HSPiに対応している必要があります。ご使用の接続機器やソフトの環境により、マイク入力を手動で設定する必要がありますので、それぞれの設定をご確認ください。対応しない場合がございますので、ご了承ください。

### 音が途切れる、または音質が劣る

- 接続するBluetooth機器と本製品を近づけて使用してください。
- 接続するBluetooth機器と本製品の間に障害物を避けてご使用ください。
- 他の無線機器、電子レンジなどの電波干渉機器が近くにある場合があります。干渉の元と思われる機器から離れて使用してください。

### 音楽が再生できない

- 接続するBluetooth機器と本製品の電源を入れてください。
- 再度ペアリング(登録)をしてください。
- Bluetooth機器と本製品の音量を大きくして調節してください。Bluetooth機器側で音楽再生ができるかご確認ください。
- ファイルやWebサイトによってBluetoothでの再生をサポートしていない場合があります。
- スマートフォンの仕様により、ダウンロードした動画等の音声はBluetoothでは視聴できない場合があります。

## リチウム電池のリサイクルについて



この製品にはリチウムイオン電池が使用されています。不要になりました電池は廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。希少資源を有効に活用するため、リサイクルにご協力ください。



詳細はここから

## 商品仕様

製品向上のため、製品仕様は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

商品仕様	イヤホンタイプ	カナル型
	イヤホン本体質量	約42g
	使用温度範囲 / 湿度範囲	5~40°C / 20~60% (ただし結露なきこと)
ヘッドホン部	ドライバー型式	ダイナミック型
	ドライバーサイズ	φ 10mm
	音圧感度	105dB
	防水規格	IPX5
	インピーダンス	32 Ω
	再生周波数帯域	20Hz~20kHz
マイクロホン部	マイク感度	-40dB
通信仕様	Bluetooth	Ver.5.2
	対応プロファイル	A2DP/AVRCP/HFP/HSP
	対応コーデック	SBC
	使用周波数帯域	2.4GHz 帯
	受信距離 / 送信出力	約10m/Class2
ヘッドホン部 その他	連続音楽再生時間(※1)	約45時間
	連続通話時間(※1)	約40時間
充電仕様	充電電圧	DC5V
	充電時間	約2時間
	イヤホン本体バッテリー量	500mAh
	充電ポート	Type-Cポート
機能一覧	音声アシスタント	Googleアシスタント / Siri
	ハンズフリー機能	○
	自動ペアリング	○

## 商品仕様

機能一覧	マルチポイント機能	○
	自動電源オフ機能	○
付属品	イヤークリップ S/M/L (Mサイズはイヤホン本体に装着済み)	
	充電用Type-Cケーブル(約0.24m)	
	取扱説明書兼保証書(保証期間:6ヶ月)	

(※1)使用時間は50%音量の条件にて算出。接続するBluetooth機器との距離が長い場合など、消費電力が増加するために通話/再生時間が短くなる場合があります。

 国210-209102 本製品は工事設計認証を受けています。